

なは女性センター講座2025

学ぼう心のサイン・気づこうこどものSOS きみの命はたからもの

日時: 8月16日(土) 午後2時~4時

令和5年の小中高生の自殺者数は全国で513人となり過去最多であった前年(514人)と同水準で推移しており、自殺予防等への取組について強化していく必要があります。特に、自殺未遂歴や自傷行為歴等のあるハイリスクな子どもへの危機介入の強化が必要に迫られています。こども家庭庁は「こども・若者の自殺危機対応チーム」の設置によるこどもや若者への困難事案への的確な対応に向けて、より一層、取組を推進しています。こどもの自殺対策においては地方公共団体の果たす役割が非常に大きく、学校や教育委員会、家庭、地域が連携して、地域全体でこどもを守る仕組みを構築することが重要となっています。

今回の講座では、保護者やこどもに関わる大人が「こどものSOS」をどのように受け止めるかについて学びます。

- ① こどもの自殺における現状
- ② 深刻な悩みを抱えたこどもの特徴的な言動
- ③ こどもの深刻な悩みに寄り添うためにできること

場所: なは女性センター 学習室(なは市民協働プラザ1階)

定員: 36人(事前申込/先着順) 対象:関心のある方

※一時保育はありません。



なしろ けんじ

講師:名城 健二さん

沖縄大学 福祉文化学科 教授

★プロフィール

沖縄県今帰仁村生まれ。1993年日本福祉大学社会福祉学部卒業。大学卒業後は、地元の今帰仁村社会福祉協議会に勤務し、1995年から新垣病院(精神科)で精神保健福祉士として勤務する。2005年に沖縄国際大学大学院地域文化研究科人間福祉専攻を修了し、2013年には、オーストラリアビクトリア州のLa Trobe University Mother and Child Health Research Center で母子保健サービスの研究をする。2005年から沖縄大学の人文学部 福祉文化学科 社会福祉専攻に勤務する。/ 人文学部長

講座申込
QR





夏休み企画



こども向け講座

保護者
参観型

こころとからだとせいのはなし

自分や相手を大切にすって、どんなことだろう？

こんな気持ちになったとき、どうしたらいいの？

“うれしいこと”や“いやなこと”など、成長するにしたがって、
様々な感情や疑問がわいてきます
それは生きていく上でとても大切なこと
自分の「こころ」に気づいたり、自分の「からだ」の成長を感じたり、
「せい」を学んで、自分らしさを知る
自分や相手を大切にするために「あ、そうなんだ!」と気づける講座です

内容

- ◆自分らしさってなんだろう（性の多様性の尊重）
- ◆「からだ」の権利を知ろう
- ◆安心できるいい関係のつくりかた
- ◆困ったときはどうする？
- ◆大人に変化していく「こころ」と「からだ」

日時：8月9日 土 10:00~12:00

会場：なは女性センター 学習室

対象：小学3年生～6年生（2名様まで）
および 保護者（1名様まで）
※お子様のみ、保護者のみでのご参加はお控えください。

定員：20組（事前申込／先着順）

*市在住・在勤・在学の方は手話通訳が利用可能です。8月1日（金）までにお申込みください。
*託児はございません。



お申込みは
QRから



講師 和田なほさん

沖縄性教育コミュニティKPTAS 代表
思春期保健相談士・性教育認定講師 神奈川県出身

教員時代、現場での生徒の性に関するトラブルや子どもたちの抱えるセクシュアリティ（性のあり方）の幅みに直面し、性と人権の知識の必要性を感じる。教員退職後、性教育講師としての活動をスタート。

2016年に沖縄へ移住。子どもたちに正しい知識を伝えることで、ひとりひとりが“自分らしさ”を知り、認め合い、人生を楽しむための選択肢を学べるよう、「自分で選ぶ・自分らしい人生を生きる」ための性と人権の教育「包括的性教育」を提唱している。幼・小・中・高・支援学校、保護者向け講座など多数実施。日本思春期学会“人間と性”教育研究協議会に所属。

令和7年度 那覇市デジタル人材育成支援事業

女性のためのキャリアデザインセミナー&事業説明会を開催します！

無料

○ セミナーテーマ 『彩る』私のキャリアデザイン ○

先輩女性の体験談に交え、女性のためのキャリアと描き方について考えます。
自己認識・目標設定・考慮すべきこと・課題と解決策などに触れグループワークでは、
キャリアプランを描き、共有することで生まれる発見を体験します。

- ◆ 事業説明：基礎から PC スキルが身につく PC 研修と就職サポートが一緒に受けられる
「なは女性デジタル人材育成支援講座」について説明します。
- ◆ 定員：45名（事前申込み）
- ◆ 開催日：2025年8月30日（土）10:00—12:00（締切：8/28（木）20時迄）
- ◆ 対象者：那覇市在住の18歳以上の女性

*これまでパソコンに触れる仕事の経験がなく、今後デジタルツールを使ったお仕事、デジタル分野への就職を希望する方。

- ◆ 会場：ヒューマンアカデミー那覇校（那覇市牧志1-19-29 D-naha 8階）
- ◆ 申込方法：右記QRコードまたはお電話でお申込みください。

★参加できない方は、後日のアーカイブ視聴が可能です。

お申込みはこちらから！



※お問い合わせ

委託業者 ヒューマンアカデミー那覇校 TEL：098-864-0189

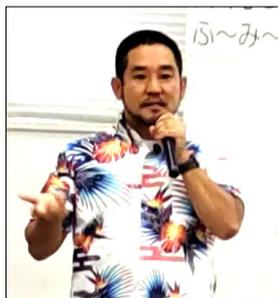


講座を終えて

講座名：市民が学ぶ「LGBTQ+」講座 ～誰もが自分らしく生きられる那覇市を目指して～
開催日：2025年6月21日(土) 午後2時～4時
講師：「沖縄ろうLGBTQいるまんちゃー」から
代表：ふーみー（鈴木文人）さん、理事：くに（國吉陽介）さん、会員：リキさん

くにさんによる「LGBTQ基礎知識」

性はグラデーションであるという認識



【SOGI】

(Sexual Orientation: 性的指向) & (Gender Identity: 性自認) では、LGBTQ+の当事者かどうかではなく誰もが性的指向と性自認においては「当事者」です。

性のあり方はGradation (=グラデーション) です。いるまんちゃーでは、「誰もが誰かのALLY (支援者) になれる」と考えています。「上から手を差し伸べる支援ではなく、下から支えるサポーターでもなく、横に立ち、寄り添うのがALLY」だと考えています。國吉さんは、「ぜひ、ALLYになってください。ぜひ、相談しやすい大人でいてください。」と、参加者に呼びかけていました。

ろう者でLGBTQ当事者のリキさんの経験

ダブルマイノリティとしての苦悩

女性と男性に惹かれ、自分がストレートではないことに気づいたこと。22歳になりLGBTQの手話サークルを教えてもらい、ドキドキしながら行き、共通の悩みを抱えている仲間に出会い、心の底から抑えていた感情が爆発して泣いてしまったこと。多くの方との交流を通して自分の居場所が見つかり「自分らしさ」を生きることができました。

パートナーと出会い「結婚」を意識するようになり、那覇市に移り住み、2022年6月に那覇市でパートナーシップ登録を受けました。

「聴者」のパートナーと一緒に暮らし始めると、聴者とろう者の文化や価値観の違いとの向き合い方に、すごく苦労しましたが、口話や筆談に加え、少しずつ手話も覚えてくれて、喜怒哀楽を分かち合うなかで、お互いの絆が深まってきました。しかし、ゴールは「婚姻の平等」です。リキさんは、同性婚制度の実現に向かって活動を続けていくことを表明していました。



ふーみーさんの活動と セクシュアリティの気づき

いるまんちゃーは、ろう者・難聴者のLGBTQ当事者を中心に活動するグループです。聴者のLGBTQ当事者や、手話や多様性に理解のあるアライも参加しています。

現在は、LGBTQ当事者の手話教室を開催し、沖縄県内でLGBTQに関する講演会やイベント等に参加しサポートしています。コロナ禍で観たリアリティ番組「クィア・アイ」(Queer Eye) でノンバイナリーのジョナサン・ヴァン・ネスさんとの「出会い」により、自分自身がノンバイナリーだと気づきました。本当の自分を見つけるまで、時間がかかりました。なぜならば、聴者と同じだけの情報が得られないからです。「情報格差の課題」を解決することで、当事者の生きづらさが減るのではないかと考えています。「誰もが安心して、自分らしくいられる社会。からだの性や心の性にかかわらず、『一人の人間』として尊重される社会を、皆さんと一緒に目指していきたいです。」と結びました。



Book

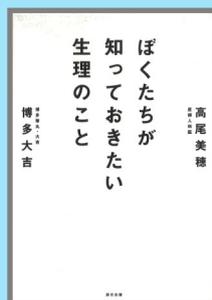
蔵書本を
ご紹介します

★せいまつわる書籍紹介★

【男性視点から知みた生理】

“知ればもっとわかりあえる”

NHK「あさイチ」でおなじみのお二人が、生理について語って見たら、今よりちょっとやさしい社会が見えてきた。「男性が女性の体調について知ることは当たり前」な社会に日本が近づく日も近いかも？



題名：『ぼくたちが知っておきたい
生理のこと』

著者：博多大吉(博多華丸・大吉)

高尾美穂(産婦人科医)

辰巳出版/2022年10月10日発行

★女性問題やジェンダーに関する図書の貸し出し及び資料の閲覧ができます。☆貸出し期間：2週間 お一人2冊まで。

相談室「ダイヤルうない」

周囲に話せる人がいない、自分の気持ちをわかってもらえない。そんな時、「ダイヤルうない」を利用していませんか。生きがい、家庭の問題など、女性の抱える様々な相談に応じ、自分の意思で人生を選択するために情報提供し、サポートします。

- 電話相談 ● 面接相談(女性のみ・要予約)
- 法律相談(女性のみ・予約制)

 **098-861-7515**

相談時間 ▶ 月～土 午前9時～12時/午後1時～5時

「ストップ・DV」情報提供

相談室「ダイヤルうない」では、ドメスティック・バイオレンス(DV)で悩む方を支援するための情報提供を行っています。詳しくは相談室「ダイヤルうない」へお問い合わせください。

性の多様性に関する相談

あなたが「自分らしい生き方」を自らの意思で選択できるように、一緒に考えます。どなたでもご相談ください。

面接相談
申込QR



相談室「ダイヤルうない」の
面接相談の申込みがオンライン
でも、できます！

面接相談のオンラインお申込みは、仮受付です。正式な面談日は相談員から、お電話させていただきます。

那覇市パートナーシップ・ファミリーシップ登録

「那覇市パートナーシップ・ファミリーシップ登録」は、市長がパートナーシップ・ファミリーシップの関係にあると認めた場合、その関係について登録簿へ登録し、「登録証明書」及び「登録証明カード」を交付するものです。詳しくはお問合せください。

登録数 **80** 組

うちファミリーシップ **3** 組

2025年7月15日現在

これまでに登録された方へも「登録証明カード」の交付ができます。

■お問い合わせ・申請の予約

TEL. **098-951-3203** ◆ 月～金:午前9時～午後5時

* 祝日、慰霊の日(6/23)、年末年始(12/29～1/3)除く

レインボー交流会の開催について

「交流の場がほしい」「性の多様性について語りたい」といった声から生まれた誰でも参加できる交流会です。



*開催日時は詳細が決まりしだいお知らせします。

主催:市民団体ていーだあみ

メール: tiidaami.okinawa@gmail.com

「フェイスブック」でもお知らせしています▶



★7月のお休み★ 7/21(月)は「海の日」休館日となっています。

駐車場のご利用

「なは市民協働プラザ」の地下駐車場と消防局隣の「ナハメカルパーキング」をご利用ください。

ご利用は**有料**です。センター利用者は、料金の一部が免除されますので「駐車券」を事務室にお持ちください。

周辺地図



お問い合わせ

那覇市銘苅2-3-1(なは市民協働プラザ1F Aコア)

TEL. 098-951-3203 FAX. 098-951-3204

Email: s-heidan002@city.naha.lg.jp

なは女性センターホームページ QR⇒



☆なは女性センター利用者の駐車場利用 一部免除料金

最初の2時間まで	100円
最初の2時間を超え1時間ごとに	100円

開館時間	休館日
月～金:午前9時～午後9時	年末年始(12/29～1/3)
土曜日:午前9時～午後5時	日曜日・祝日・慰霊の日(6/23)